

# 横浜市新型コロナウイルス対策本部会議

日時 令和2年7月16日（木）10時00分

場所 危機管理センター 本部会議室

## 次 第

### 開 会

#### 1 市内の状況について（報告）

- |              |              |     |
|--------------|--------------|-----|
| (1) 感染発生等の状況 | 【健康福祉局】【医療局】 | 資料1 |
| (2) 市内経済の状況  | 【経済局】        | 資料2 |
| (3) 市内観光の状況  | 【文化観光局】      | 資料3 |

#### 2 感染第2波への対応状況について

- |                                    |              |     |
|------------------------------------|--------------|-----|
| (1) 感染防止対策の強化（横浜版クラスター予防・対策チームの設置） | 【感染症・医療調整本部】 | 資料4 |
| (2) 市民利用施設等における感染対策【本部運営調整チーム】     |              | 資料5 |
| (3) その他                            |              |     |

#### 3 本部長指示

### 閉 会

# 横浜市新型コロナウイルス 対策本部会議

【市庁舎10階 本部会議室】

令和2年7月16日（木）

10:00～

## 次 第



### 【議事内容】

#### 1 市内の状況について

- |              |              |     |
|--------------|--------------|-----|
| (1) 感染発生等の状況 | 【健康福祉局】【医療局】 | 資料1 |
| (2) 市内経済の状況  | 【経済局】        | 資料2 |
| (3) 市内観光の状況  | 【文化観光局】      | 資料3 |

#### 2 感染第2波への対応状況について

- |                                   |              |     |
|-----------------------------------|--------------|-----|
| (1) 感染防止策の強化(横浜版クラスター予防・対策チームの設置) | 【感染症・医療調整本部】 | 資料4 |
| (2) 市民利用施設等における感染対策【本部運営調整チーム】    |              | 資料5 |
| (3) その他                           |              |     |

#### 3 本部長指示

## ■ 議題 1 ■



# 市内の状況について（報告）

## 【資料 1】 健康福祉局・医療局



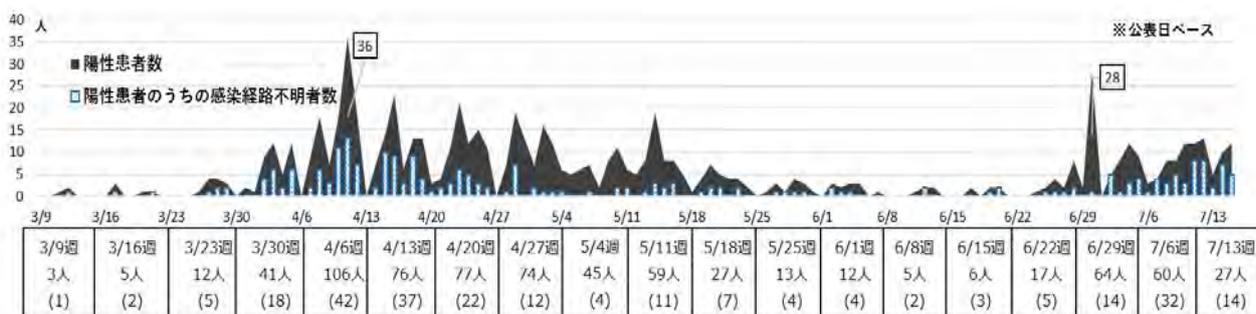
# 感染発生等の状況



# 1 感染の状況① (令和2年7月15日時点)

累積陽性患者数 736人 うち感染経路が不明な方：241人

直近1週間 72人 うち感染経路が不明な方：38人



※ ( ) 内は経路不明者数速報値。今後、疫学調査により感染経路不明者の数が変動する可能性あり。



# 1 感染の状況② (令和2年7月15日時点)

直近1週間の人口10万人あたりの累積新規陽性患者数

**1.92人** (7/9~7/15の新規陽性者数72人) / (3,754,000 / 100,000) = 1.92

直近1週間の人口10万人あたりの感染経路不明の累積新規陽性患者数

**1.01人** (7/9~7/15の新規陽性者数38人) / (3,754,000 / 100,000) = 1.01

※人口は、令和2年4月1日の人口推計3,754千人として算出

《感染の状況をみる目安》

直近1週間の累積報告数が人口10万人あたり0.5人程度以下  
 (「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」より)



# 1 感染の状況③ (令和2年7月15日時点)

陽性患者数の中で、20歳代・30歳代が占める割合

5月まで：**27.5%**

(~5/31までの20・30歳代陽性者数150人) / (陽性者数計545人) = 27.5

6月以降：**66.0%**

(6/1~7/15の20・30歳代陽性者数126人) / (陽性者数計191人) = 66.0



# 2 医療提供体制 (令和2年7月15日時点 速報値)

## (1) 患者の状況

※速報値。今後、医療機関等からの報告により数変動する可能性あり。

入院中			入院中計
重症	中等症	軽症・無症状	
4	7	32	43

・人工呼吸器使用患者3人、ECMO使用患者1人(7/14時点)

宿泊療養	自宅療養	入院調整中	退院等	死亡	非公表	計
19	20	0	607	46	1	736

## (2) 確保病床

・中等症・重症用病床※を500床確保

(※人工呼吸器303台、ECMO32台を保有(厚生労働省集計値))

・横浜市宿泊療養施設を200床確保

### 3 監視体制 (令和2年7月5日時点)

PCR検査実施者総数： **12,458人**

種 別	累積数
衛生研究所検査実施者数 (A)	3,206人
医療機関での検査実施者数 (民間検査機関及び院内検査) (B)	7,856人
簡易検体採取所での検査実施者数 (C)	1,396人
検査実施者総数 (A) + (B) + (C)	<b>12,458人</b>

速報値として公表しており、後日確定データとして修正される場合があります。

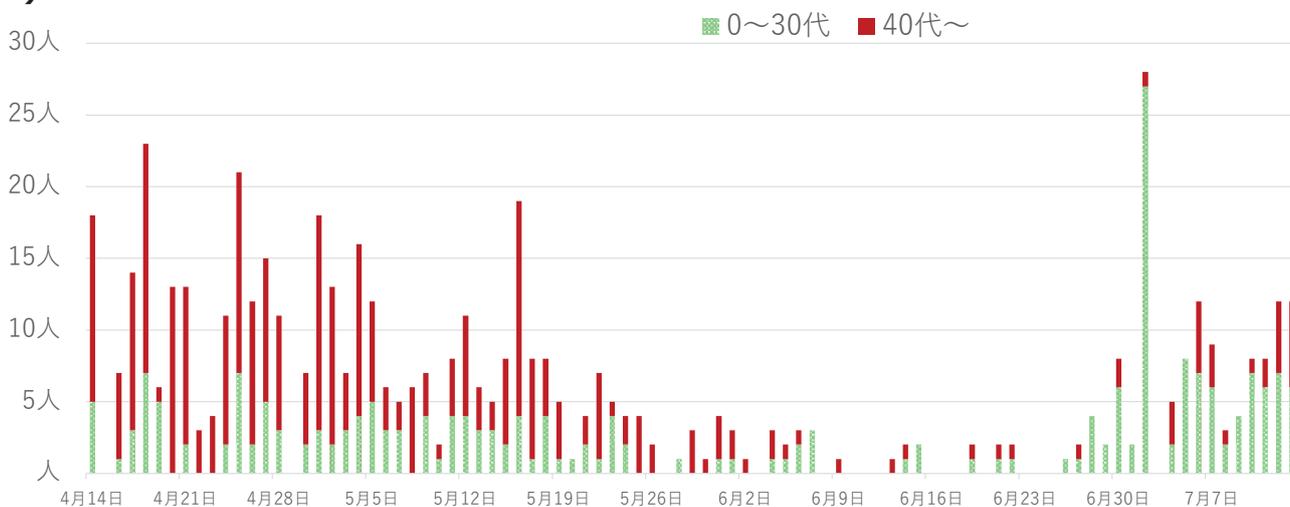
(A) DP船乗客・乗員に関連した検査実施者延べ人数282人を含む (7月5日現在)

(B) 医療機関での検査実施者数 (民間検査機関及び院内検査) は、4月1日以降に横浜市に報告された人数 (7月5日現在)

### 重傷者・軽症者の推移【医療局】

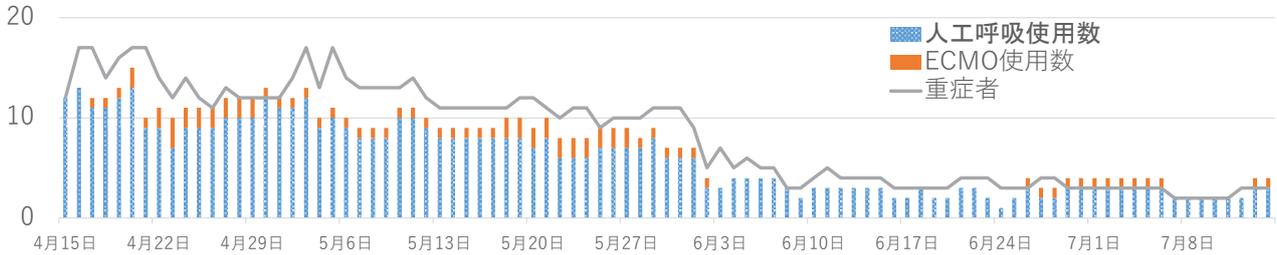
## 重症者・軽症者の推移①

### (1) 新規陽性者の年代別傾向

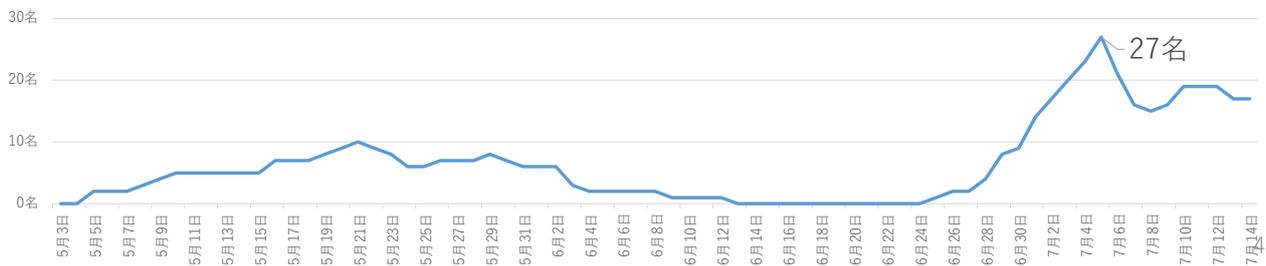


## 重症者・軽症者の推移②

(2) 重症者の状況 (注：市内のコロナ患者受け入れ病床確保医療機関からの報告)



(3) 横浜市宿泊療養施設稼働状況 (注：市外在住者を含む)



# 市内経済の状況

# 第113回横浜市景況・経営動向調査の結果（6月実施）



**今期（4-6月期）の自社業況BSI<sup>※</sup>は▲64.0**  
**前期から36.8ポイント低下と調査開始以来、最大のマイナス幅。**

- ・全産業BSI  
→前期比36.8ポイント低下（調査開始以来、最大）
  - ・中小企業BSI  
→前期比35.4ポイント低下（調査開始以来、最大）
- ※自社業況BSI・・・自社業況が「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合を減じた値。

	令和2年 4-6月期 (今期)	今期-前期	令和2年 7-9月期 (来期)
全産業	▲64.0	▲36.8	▲68.5
中小企業	▲66.7	▲35.4	▲72.5

## ◆事業者からのお声

数値は今期BSI

業種	飲食・宿泊業 ▲100.0	小売業 ▲63.7	製造業（輸送用機械） ▲52.5
事業者からのお声	インバウンドが激減。生活様式の変化により、レストランや宴会利用などの需要・売上が以前の水準に戻るとは考えにくい。（宿泊）	商業施設に入っている店舗のなかには、休業、営業時間を短縮しているところがあり、業況は悪い。（書店）	生産ラインの停止に加え、メンテナンス業務の受注が大きく減った。（車両製造関係）

## 市内の雇用状況（令和2年5月時点）

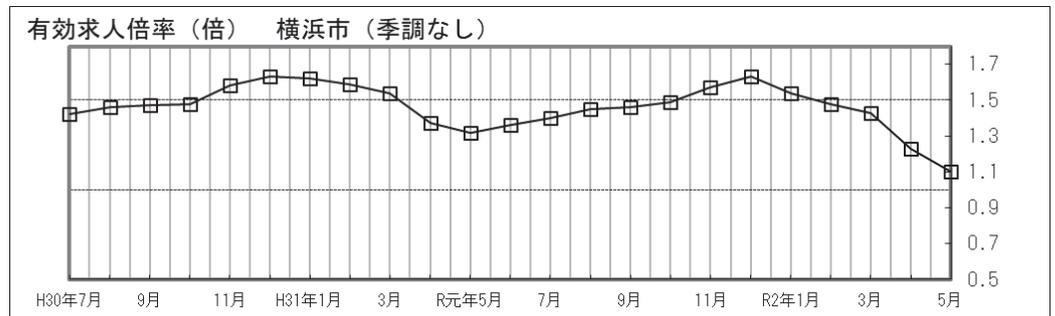


・有効求人倍率：**1.10倍**

※「労働市場年報」厚生労働省より

R1.12月（1.63倍）以降、**5か月連続で低下。**

※参考：神奈川県の有効求人倍率：0.95倍



・月間有効求人数：**44,454人**

先月に引き続き減少。

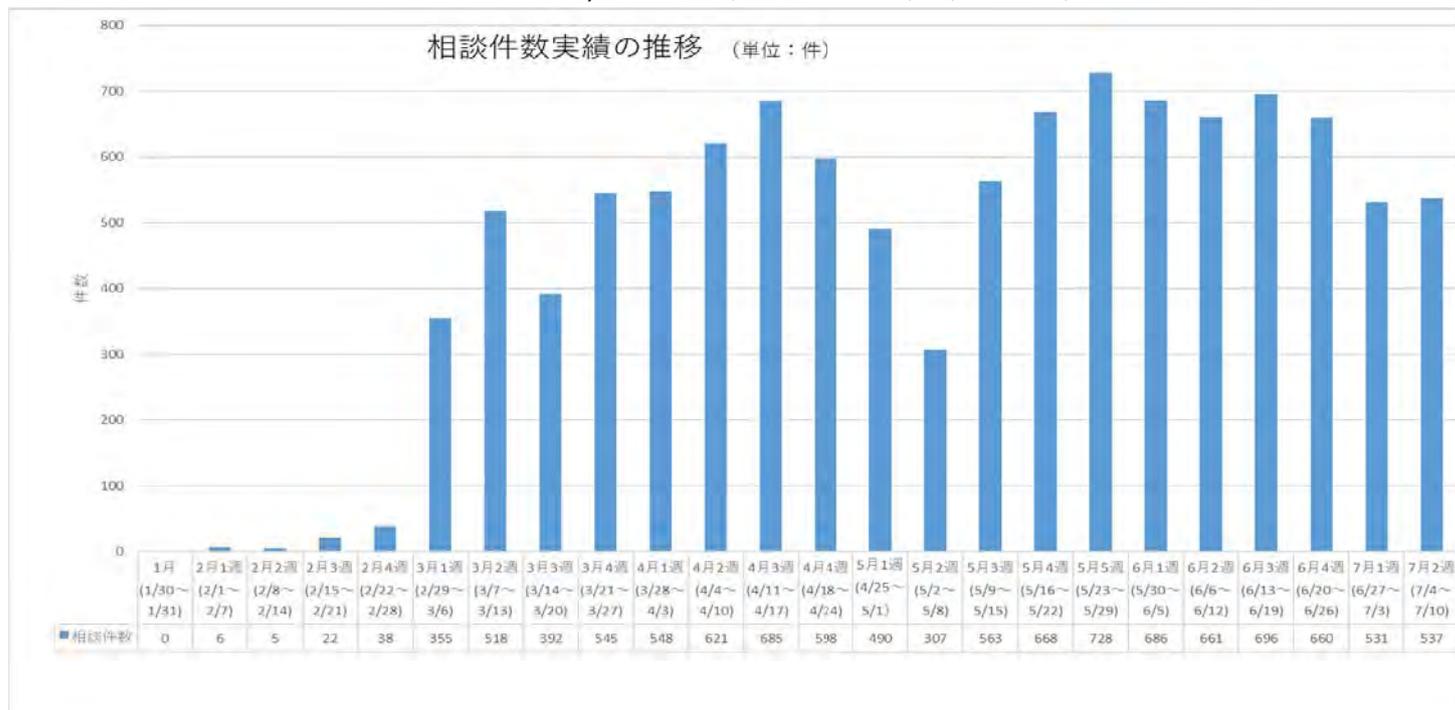
前年同期比▲23.6%はリーマンショック後（H21.7月）の最大減少幅（前年同月比▲24.4%）と同程度。

・月間有効求職者数：**40,516人**

先月（40,599人）から横ばいで推移。昨年平均（40,973人）と同程度であり求職者数の増加はない。

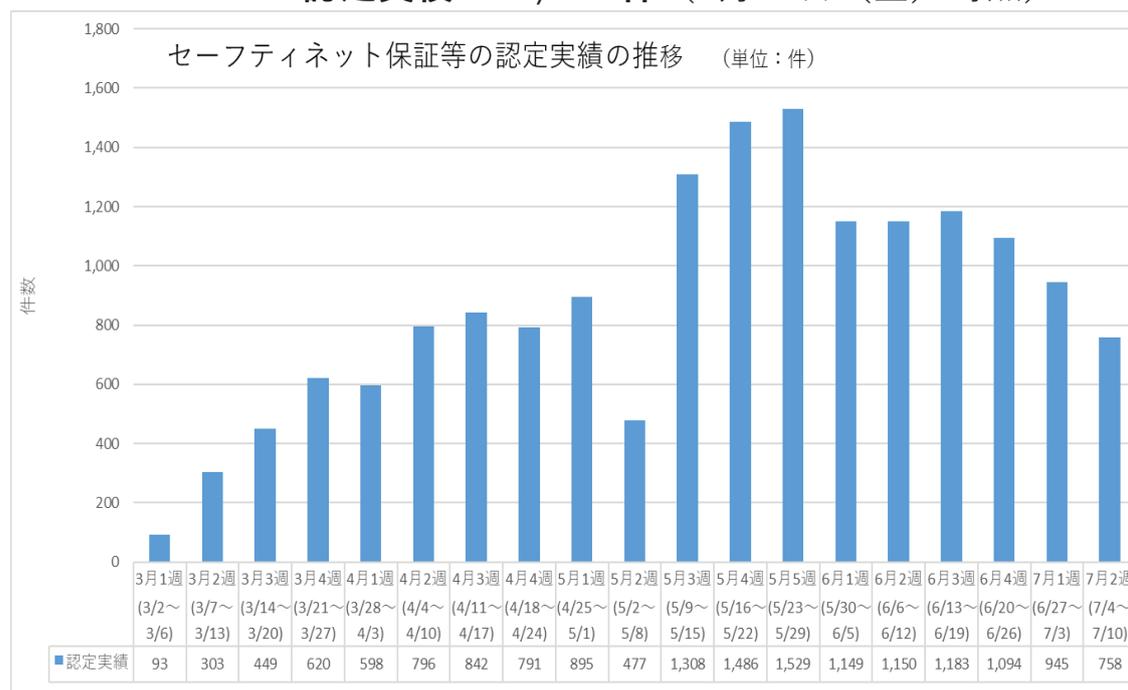
## 「特別経営相談窓口」の受付状況

相談件数実績：10,860件（7月10日（金）時点）

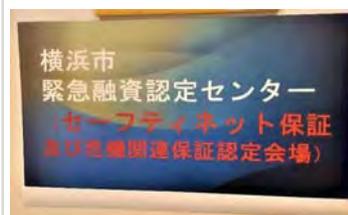


## セーフティネット保証等の認定状況

認定実績：16,466件（7月10日（金）時点）



7月6日に開設した  
「横浜市緊急融資認定センター」



# 制度融資による資金繰り支援の実施状況



融資実績：11,620件 2,754億9,759万円（7月10日（金）時点）



	件数	金額	うち500万円以下	うち3,000万円超～4,000万円
実質無利子融資 ※1	7,598件	1,396億9,583万円	1,851件、63億5,496万円	634件、252億5,867億円
既存の融資メニュー ※2	4,022件	1,358億 176万円	—	—
合計	11,620件	2,754億9,759万円	—	—

※1 「横浜市新型コロナウイルス感染症対応資金」（5/18～）、6/15に融資限度額を3,000万円から4,000万円へ引上げ  
 ※2 「経済変動対応資金（新型コロナウイルス感染症対応に伴い拡充した要件）」（2/5～）、「新型コロナウイルス感染症対策特別資金（売上20%以上減少型）」（3/2～）、「新型コロナウイルス感染症対策特別資金（売上5%以上減少型）」（3/6～）、「新型コロナウイルス感染症緊急特別資金（売上15%以上減少型）」（3/13～）

# 5月補正予算で実施している事業者支援策



7月10日（金）時点

事業名	事業概要	相談件数	申請件数	用途の事例（予定含む）
商店街等活動支援事業一時金	商店街の事業継続を支援することを目的に、個々のニーズに応じて、使い道が選択できる一時金を交付。 (加盟店舗数×10万円)	294商店街 (調整件数)	260商店街 (左記の内数)	<ul style="list-style-type: none"> <li>衛生用品の購入</li> <li>収束後、イベント・セールを実施</li> <li>商店街で使える商品券の発行</li> <li>施設改修（アーチ塗装、LED化等）</li> <li>テイクアウト・デリバリーの実施</li> <li>事業継続のため、各店舗に配付</li> </ul>
小規模事業者支援一時金	「実質無利子融資」で50万円以上、500万円以下の融資を受けた小規模事業者等に、10万円の一時金を交付。	1,554件	590件	<ul style="list-style-type: none"> <li>賃料や人件費などの固定費支払</li> <li>感染症予防対策に伴う器具や物品の購入</li> </ul>
スタートアップ企業支援一時金	創業間もないIT、ライフサイエンス等分野の市内スタートアップ企業に対し、将来の成長に向けた事業継続を支えることを目的に、10万円の一時金を交付。	238件	110件	<ul style="list-style-type: none"> <li>賃料や人件費、公共料金などの固定費支払</li> <li>新たなサービスや試作品などの開発に係る費用</li> </ul>
テレワーク導入助成	中小企業が新たに「テレワークを導入」する経費を助成。 上限：30万円 補助率：3/4	1,039件	428件	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレワーク用のPCやタブレットの購入</li> <li>社外からのアクセスを可能とするシステムの整備</li> <li>WEB会議用のアカウント経費</li> </ul>

# 中小企業の「新しい生活様式」対応支援事業補助金 (6月補正事業)



「新しい生活様式」に対応するための  
備品購入や内装工事等の経費を補助。

- ・ 7月14日 (火) 記者発表
- ・ 7月15日 (水) コールセンター開設
- ・ 8月3日 (月) 事前エントリー開始

横浜市 中小企業の「新しい生活様式」対応支援事業補助金  
**市内で揃える「新しい生活様式」**

対象設備  
設備等を設置する拠点が横浜市内にあり、中小企業であること  
※詳しくは、ホームページに掲載している「募集案内」をご覧ください。

補助率 設備・工事等の費用の**90%**

**法人** 最大**30万円** **個人事業主** 最大**15万円**

**対象設備**

- ◆「新しい生活様式」に対応するために購入した設備又は、施工した工事
- ◆横浜市内に住所を置く事業所から購入したもの
- ◆令和2年4月7日以降に契約したもの

<b>保健衛生対策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検温器</li> <li>手指消毒器</li> <li>自動対応型足音マット</li> <li>キャッシュレス機器等</li> </ul>	<b>3密対策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>客室の換気化</li> <li>アクリル板の設置</li> <li>網戸の設置</li> <li>換気設備の設置等</li> </ul>
<b>新しいビジネス展開</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインレッスンやネットでの非対面営業等を始めるためのパソコン・カメラの購入等</li> </ul>	<b>補助の対象外</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消耗品等(マスク、消毒液、フェイスシールド、替替等)</li> </ul>

**設備導入例: A事業者 (総費用30万円前後)**  
パーテーション設置+自動手拭消毒器+キャッシュレス機器

**設備導入例: B事業者 (総費用15万円前後)**  
換気扇+アクリル板の設置+換気設備の設置

市内の工事業者をお探しでしたら、神奈川県電気工事工業組合、横浜市電気工事協同組合がお手伝いします。  
詳しくは、「横浜 新しい生活様式補助金」でご検索いただき、ホームページをご覧ください。

市内経済は完全に従来の状況に戻った訳ではありませんが、事業者の皆様からは、  
感染拡大防止と事業活動の両立に向けた前向きな お声もいただいています。



飲食業	緊急事態宣言も解除され、6月から営業時間を延長したことから、売上が戻りつつある。
ITサービス業	取引先との商談が、ウェブ上でなく、実際に会っての交渉ができるようになったので、契約が決まりやすくなった。
建設業	家で過ごす時間が多くなった方が増えたことで、内装工事の受注が増加している。
サービス業	「新しい生活様式」に対応するための備品購入費用もかかるなど、経営状況は楽ではないが、感染防止対策を取りながら、お客様サービスに努めていきたい。
小売業	従前の水準には及ばないが、客足は少しずつ戻ってきた。制度融資で資金調達もできたので、前向きに事業を継続していきたい。
建設業	これまで建設関連資材の流通が止まり、建設工事に大きな影響が出ていたが、最近ようやく物流が動き出したようで資材が入ってくるようになった。
飲食業	お客様の不安を解消できるように、3密が起これないような配慮をしながら、営業している。
商店街	横浜駅周辺では、人通りは通常時の8~9割程度に戻ってきた。
商店街	緊急事態宣言が解除され、店舗の営業が再開され始めた。第2波に注意をしながら、衛生対策等を取り、お客様をお迎えしていきたい。

# 市内観光（観光MICE）の状況

## 観光MICEの状況

### （1）市内主要ホテル平均稼働率の推移（2016年～2020年）

（単位：％）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
2016年	77.4	85.6	89.6	87.0	83.4	84.4	88.4	88.8	87.8	87.9	87.7	88.2	86.4
2017年	76.5	85.8	89.6	89.2	84.8	84.3	86.3	90.2	85.9	89.7	88.6	85.2	86.3
2018年	79.4	86.7	90.3	89.2	85.3	89.3	87.5	92.7	88.6	91.1	92.2	88.7	88.4
2019年	79.0	86.9	90.6	92.2	87.1	83.2	86.1	90.5	85.5	86.2	86.3	84.6	86.5
<b>2020年</b>	<b>78.4</b>	<b>73.3</b>	<b>49.3</b>	<b>26.6</b>	<b>20.9</b>								<b>49.7</b>
平均	78.1	83.7	81.9	76.8	85.2	85.3	87.1	90.6	87.0	88.7	88.7	86.7	80.9

# 観光MICEの状況

## (2) 市内ホテルのヒアリング内容

### ○ 現状

- ・6月中旬から徐々に稼働が上がってきたが、感染者増の報道により再び伸び悩んでいる。
- ・工事関係者、ライブ配信・ドラマ撮影スタッフ等、ビジネス需要が多少ある。
- ・値下げ、ディユースの開始・拡大、チェックアウト後1日は部屋を開ける等の取組を実施。

### ○ 今後の見通し・取組

- ・インバウンドの宿泊は当面見込めないため、国内誘客の競争の激化が見込まれる。
- ・緊急事態宣言解除をうけて、少しずつ予約が入り始めているが、夏の旅行需要をしっかりと取込む必要がある。
- ・OTAを使った宿泊促進を既に実施している地域では、夏以降の予約が埋まってきている。
- ・国や県の動向を注視しつつ、「くらし・経済対策」で実施する「クーポン付与による市内宿泊商品の販促キャンペーン」に期待している。

# 観光MICEの状況

## (3) パシフィコ横浜、横浜アリーナ

2月以降、約400件の催事が延期・中止となっており、12月の催事もキャンセルが出始めている。

	パシフィコ横浜 (パシフィコ横浜ノース含む)	横浜アリーナ
キャンセル／予約件数 (R2.1~12)	345件／690件	65件／106件
今後(7~12月)の 開催予定件数	202件(前年同期比▲55%)	22件(前年同期比▲65%)
キャンセルの 主な案件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5/20(水)-5/22(金) 人とするまのテクノロジー展2020</li> <li>・7/17(金)-7/19(日) サマーコンファレンス2020</li> <li>・10/4(日)-10/7(水) 第9回国際矯正歯科会議世界大会</li> <li>・10/30(金)-11/1(日) 横浜マラソン2020</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4/25(土) 令和二年春巡業 大相撲横浜アリーナ場所</li> <li>・6/2(火)-6/3(水)、6/6(土)-6/7(日) ゆず アリーナツアー 2020</li> <li>・8/20(木)-8/24(月) ディズニー・オン・アイス</li> <li>・12/12(土)-12/13(日) DREAMS COME TRUE</li> </ul>

※件数には非公表の催事も含む。7/15時点。

# 感染第2波への対応状況について

# 感染防止策の強化

# 1 第2波への備え

## 横浜版クラスター予防・対策チームの設置

立入検査等のクラスター対策を強化するため、  
医師と保健師等による疫学調査チーム  
(*Y-AEIT* (ワイエイト) ※) を設置

※ Y-AEIT

「Yokohama Active Epidemiological Investigation Team (横浜 積極的 疫学 調査 チーム)」の略

# 2 接待を伴う飲食店の感染防止策を強化

首都圏において、接待を伴う飲食店に関連して  
新型コロナウイルス感染症の感染拡大が見られる

➡ 接待を伴う飲食店の従業員を対象とした  
検査を積極的に進め、**感染拡大防止策を強化**

～経済活動を行いながら、安心して暮らせる街を目指す～

### 3 感染防止策の強化

#### (1) 概要

要件を満たして申込した「接待を伴う飲食店」  
(神奈川区、西区、中区) 従業員の  
新型コロナウイルス感染症のPCR検査を実施

#### 【申込要件】

- ・概ね1週間以内に従業員の中に症状※がある人がいる  
(※咳、くしゃみ、鼻水、発熱、味やにおいがわからない)
- ・検査を受けるために、店舗へ集まることができる
- ・検査を受ける人は、検査結果が判明するまで自宅待機を厳守する
- ・陽性者が出た場合、保健所とともに感染防止対策に取り組む

### 3 感染防止策の強化

#### (2) 検査までの流れ



従業員の中に陽性の人が出た場合、原則として、陽性の方は入院又は施設療養、陰性の方は14日間の自宅待機となります。

## 3 感染防止策の強化

### (3) 実施期間

**令和2年7月16日から当面の間※**

(※市内の陽性患者発生動向により終了日を判断)

- ➔ 7月16日以降、順次、3区の対象店舗に案内を発送

## 4 Y-A-E-I-T (ワイエイト) の対応状況

- 6月下旬、市内のホストクラブで陽性者2名を確認
  - ➔ 店舗の協力を得て、全従業員を検査  
濃厚接触者の来店者へPCR検査・健康観察を実施
- 陽性者が確認された社会福祉施設や学校で幅広い検体採取を実施  
(クラスター化する前に早期に感染の広がりを把握するため)

## 【参考】 Y - A E I T (ワイエイト)

「Yokohama Active Epidemiological Investigation Team  
(横浜 積極的 疫学 調査 チーム)」の略

新型コロナウイルス感染症等の疫学調査チームとして  
横浜市健康福祉局健康安全課に設置。  
実地疫学感染症専門の医師、保健師等で構成。

医療機関や高齢者施設等で施設内感染が確認された際に、  
早期に立入調査し、感染経路の究明、感染拡大防止のため  
の指導等を行います。

～新型コロナウイルス感染症対策～

## 接待を伴う飲食店の感染防止策を強化します

横浜市では、第2波に備えた予防対策・準備として、立入検査等のクラスター対策を強化するため、医師と保健師等による疫学調査チーム（Y-AEIT（ワイエイト）※）を設置し、陽性者が出た場合には、関係者のPCR検査を幅広く、積極的に行うとともに、感染予防策の改善指導等を進めています。

首都圏において、接待を伴う飲食店に関連して新型コロナウイルスの感染拡大が見られる中、社会経済活動を行いながら、安心して暮らせる街を目指して、接待を伴う飲食店の従業員を対象とした検査を積極的に進め、感染防止策を強化します。

### 1 概要

次の申込要件を満たして、申込した「接待を伴う飲食店」（神奈川区、西区、中区）従業員の新型コロナウイルス感染症のPCR検査を実施します。

#### 【申込要件】

- ・概ね1週間以内に従業員の中に症状\*がある人がいる  
（※咳、くしゃみ、鼻水、発熱、味やにおいがわからない）
- ・検査を受けるために、店舗へ集まることができる
- ・検査を受ける人は、検査結果が判明するまで自宅待機を厳守する
- ・陽性者が出た場合、保健所とともに感染防止対策に取り組む

検査の検体採取は、申込した店舗の代表者と調整し、横浜市の疫学調査チーム（Y-AEIT（ワイエイト）※）が店舗に出向いて行う予定です。

（なお、検査を受ける従業員が少ない場合は、個別に調整させていただきます。）

#### ※Y-AEIT

「Yokohama Active Epidemiological Investigation Team（横浜 積極的 疫学 調査 チーム）」の略  
新型コロナウイルス感染症等の疫学調査チームとして、横浜市健康福祉局健康安全課に設置し、実地疫学感染症専門の医師、保健師等で構成されています。

医療機関や高齢者施設等で施設内感染が確認された際に、早期に立入調査し、感染経路の究明、感染拡大防止のための指導等を行います。

### 2 実施期間

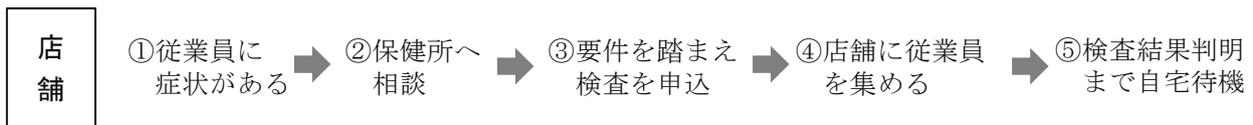
令和2年7月16日から当面の間※

※市内の陽性患者発生動向により終了日を判断します。

（7月16日以降、順次、3区（神奈川区、西区、中区）の対象店舗にご案内を発送します）

裏面あり

### 3 検査までの流れ



従業員の中に陽性の人が出た場合、原則として、陽性の方は入院又は施設療養、陰性の方は14日間の自宅待機となります。

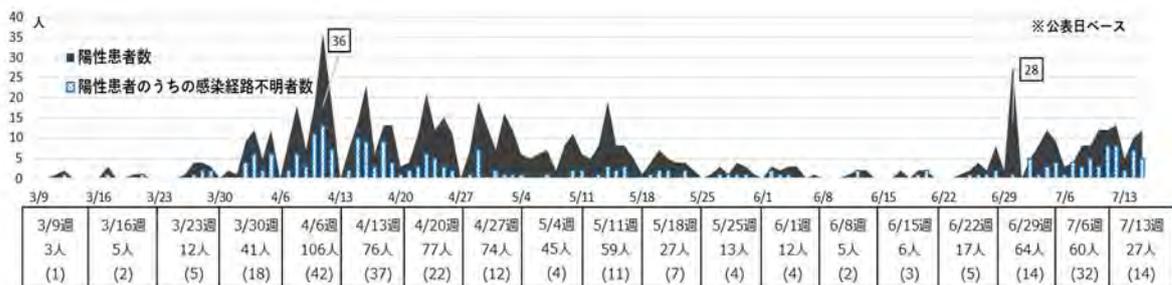
### 4 Y-A-E-I-T (ワイエイト) の対応状況

- ・6月下旬、市内のホストクラブにおいて2名の陽性者が確認されたため、店舗の協力を得て、全従業員を検査するとともに、濃厚接触者となった来店者へのPCR検査・健康観察を実施しました。
- ・クラスター化する前に、早期に感染の広がりを把握するため、陽性者が確認された社会福祉施設や学校における幅広い検体採取なども行っています。

#### 【参考】市内の患者発生状況（7月15日時点）

(1) 陽性患者の発生件数：736人（退院等：607人）

うち感染経路が不明な方（下段カッコ内）：241人



※（ ）内は経路不明者数速報値。今後、疫学調査により感染経路不明者の数変動する可能性あり。

(市内の発生状況)

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryu/yobosesshu/kansensho/coronavirus/kanja.html>

#### (2) 感染者の状況

入院中				入院中 計	宿泊療養 計	自宅療養等 計	退院等	死亡	非公表	合計
重症	中等症	軽症	無症状							
4	7	29	3	43	19	20	607	46	1	736

#### お問合せ先

健康福祉局健康安全課長

船山 和志 Tel 045-671-2442

# 市民利用施設等における感染対策

## 市民利用施設等における感染対策

### 感染状況（フェーズ）に応じた具体的な対応

状況	具体的な対応	
	市民利用施設	市が主催するイベント
<b>フェーズ 3</b> (緊急事態宣言)	<b>閉館</b>	<b>中止又は延期</b>
<b>フェーズ 2</b> (神奈川警戒アラート発令)	<b>一部閉館</b> 利用形態や感染拡大のリスク等を踏まえて判断	<b>一部中止又は延期</b> 実施形態や感染拡大のリスク等を踏まえて判断
<b>フェーズ 1</b> (小康期)	<b>開館</b> 感染防止対策を講じた上で、原則開館	<b>開催</b> 感染防止対策を講じた上で、国及び県の方針を踏まえた規模で開催

### イベント規模の目安（神奈川県が示すとおり）

時期	屋内/屋外	収容率	人数上限
大規模イベントまで開催 (7月10日～)	屋内	50%以内	5000人
	屋外	十分な距離	5000人
(8月1日を目途)	屋内	50%以内	上限なし
	屋外	十分な距離	上限なし

※施設管理者又はイベント主催者は、全国的な移動を伴うイベント又はイベント参加者が1,000人を超えるようなイベントの開催を予定する場合は、そのイベントの開催要件等について神奈川県に事前相談をすること。

# 市民利用施設等における感染対策



## 感染予防・拡大防止に係る基本的事項

市民利用施設については、これまでも、類似する業態の団体が作成した業種別ガイドラインを参考にして感染予防・拡大防止の対策に取り組んでいますが、改めて次の対策を徹底します。

■ **感染対策の基本**（3密の回避、手洗いの徹底とマスクの着用）

■ **複数の人の手が触れる場所の消毒を徹底**

■ **利用者の体調の確認**（施設の実情に応じた方法）

■ **職員の健康管理の徹底**

■ **利用者の連絡先等を把握**（施設の実情に応じた方法）

※市内の観光・宿泊施設にも、感染予防・拡大防止の呼びかけを行います。